舞鶴から希望の京都をつくろう！　～地域力の創造と市民の幸せを目指す～

京都府議会議員

池田まさよし通信【第２号】

発行：池田まさよし事務所

〒624-0854 舞鶴市字円満寺133番地3 TEL:0773-77-1722 FAX:0773-77-1723 ホームページ http://www.ikedakai.net

京都府議会議員
池田正義

日増しに深まりゆく秋、皆様　ご健勝にてお過ごしのことと存じております。

日頃から、池田正義に対しまして暖かいご支援とご指導を賜り、心から感謝申し上げます。こうして活動できますのも皆様のお蔭様であり重ねて厚く御礼申し上げます。

さて、本年三月の東日本大震災以降も近畿地方南部に甚大な被害をもたらした台風十二号をはじめ、このところ毎年のように記録破りの災害が発生しております。

また、過去最高の水準となった円高の進行などにより、我が国の経済に深刻な影響がでてきております。さらに、雇用・経済対策、災害対策などの諸課題に対応しなければなりません。これからも、京都府の状況や私の議員活動などを紹介してまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

府議会報告　9月定例会

記録的な円高が進むなど、厳しい状況の続く京都の経済情勢への対応をはじめ、災害、エネルギー対策、生活関連対策などの予算が可決されました。

9月補正予算総額　58億4,000万円

①円高、雇用・経済対策

5つの緊急対策

- 中小企業円高緊急対策事業……3億6,200万円
- 京都企業海外流出防止緊急対策事業……3億円
- 第2次京都観光緊急誘客対策事業……3,000万円
- 大学生就職緊急支援事業……300万円（債務負担行為1億500万円）
- 林業大学校整備費……2,400万円

②災害から“いのち”を守る対策

防災基盤緊急整備

- 生活密着型緊急防災対策事業（府民公募）…5億円
- 防災基盤整備先行対策事業……25億円（債務負担行為）

被災地復興支援対策

- 被災者生活再建支援事業……18億円9,500万円
- 被災地復興支援京都府・京都大学連携プロジェクト推進事業……100万円

③エネルギー対策

省エネ・創エネ支援対策

- 中小企業エコ設備投資支援事業……1億円
- スマート・エコハウス促進事業……6億100万円
- グリーンイノベーションパーク整備事業…5,000万円
- 北山文化環境ゾーンエコ路地整備事業…8,800万円

④京のスポーツパワーアップ対策

京のスポーツ施設再編事業

- 府立体育館全面リニューアル……4,200万円

⑤生活関連対策

地域で支える生活の安心対策

- 京都式地域包括ケア展開促進事業…14億7,300万円
- 待機児童解消促進事業……2億6,200万円

「京都府議会による復興支援に関する条例」が可決

この度「京都府議会による復興支援に関する条例」を可決しました。
この条例は東日本大震災により被災された地域を府議会としてどのような支援ができるかを協議し、総額5,000万円の支援を盛りこんだ条例を可決しました。

政務調査会活動

自民党議員団は府民の皆様の声を府政に反映させるため、勉強会や各種団体との意見交換会を行いました。

- 地方分権の最近の情勢についての勉強会
- 訪問介護医療費に関する福祉医療助成事業についての勉強会
- 京都府建設業協会との意見交換会
- 森林・林業活性化京都府議会議員連盟総会
- 日タイ親善京都府議会議員連盟総会

自民党が提出し、可決した意見書

この意見書は、衆参両院議長・総理大臣・所管大臣に提出します。

- 地方消費者行政の充実・強化に関する意見書
- 重度心身障がい児・者に対する施策の充実を求める意見書
- 私学教育の振興に関する意見書
- 森林整備加速化・林業再生事業の拡充・延長等を求める意見書
- 歴史的な円高に関する経済・雇用対策を求める意見書
- 「子ども・子育て新システム」導入に関する意見書
- 京都舞鶴港の日本海側拠点港選定を求める意見書
- 新名神高速道路の全線着工を求める意見書
- TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）への参加問題に関する意見書

活動報告

9月23日
◀舞鶴航空基地開隊記念式典

10月2日
魚まつり▶

10月6日
中華民国百周年に参加

10月9日
朝来区民運動会

10月21日
福知山市民病院視察

きっと感動。もっと舞鶴。第26回国民文化祭・京都2011

赤れんがアートフェスティバル

～彩って　れんがの歴史　華やかに～

全国から集まったさまざまな分野の作家によるアート＆クラフトと大型のアート展、姉妹都市・友好都市のティー＆スイーツ、ご当地自慢のグルメが大集合する食の祭典など、見て食べて楽しい楽しがいっぱい！！

平成23年
10/29（土）・30（日）
10:00～17:00（一部の催しは21:30まで）　10:00～16:00
赤れんが倉庫群・市役所・東体育館一帯

池田まさよし事務所 ご案内

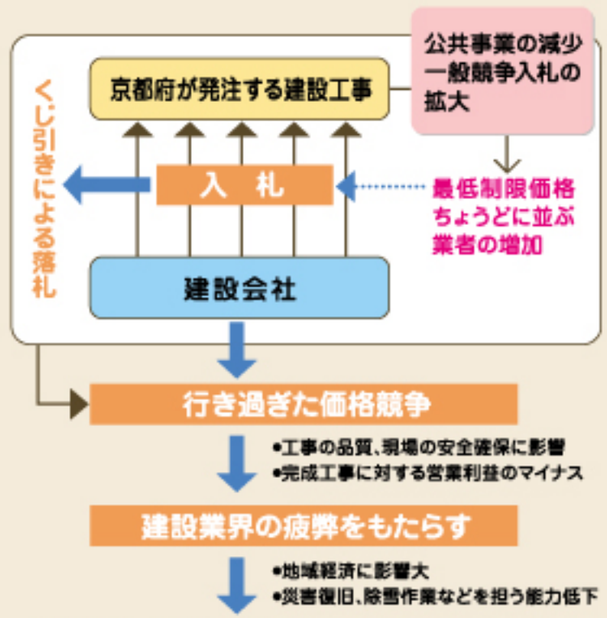
西事務所（舞鶴市字円満寺１３３番地３）

TEL.（0773）77-1722　FAX.（0773）77-1723
オープン時間.10：00～16：00

西舞鶴駅より徒歩2分です。牛丼吉野家さんの隣です。
尚、駐車場がありませんので、西駅市営駐車場をご利用下さい。

いつでもお気軽にお立寄り下さい。
市民の皆様からのご意見・ご質問も受け付けております。

行き過ぎた価格競争による建設業界の疲弊問題について、府は本年度内に　札制度の見直しをする方針となりました。



府の工事入札制度の見直しへ

府入札制度等評価検討委員会の初会合（平成23年10月13日）より

- 府から提案があった入札の下限となる最低制限価格の引き上げ
- 上限となる予定価格の事後公表を一部の工事で試行

知事の答弁

中丹地域医療再生計画について

中丹地域医療再生計画の見直しについて、再生計画の修正・見直しの現状と次回の関係者会議の開催時期について

舞鶴市域では、公的四病院が併存しており、人口十万人当たりの病床数は、京都市域を上回って、府内随一で、これに対して、人口十万当たりの医師数は、京都市域の三分の二以下です。そのため、どうしても手薄な部分が出てくる上、診療科の重複や救急医療体制の構築など、医療提供体制に問題が出ているのが現状です。それをどうして立て直すか大きな課題となっています。

この課題に対応するためには、医療機能の選択と集中、分担と連携による公的病院の再編、舞鶴市域における東西地域の均衡ある医療バランスの構築、舞鶴市民病院の現状を踏まえた今後のあり方、この三点がポイントになってきます。

この結果、修正案の方向性として、例えば舞鶴医療センターは脳疾患、舞鶴共済病院は循環器、舞鶴赤十字病院はリハビリテーションなどの特色を有することから、こうした機能を中心に相互連携を強めるとか、また舞鶴市からは、老朽化が著しい舞鶴市民病院については、西地区に移転・改装して療養病床に特化したいという旨の意向が示されましたので、東西の医療バランスの均衡を図るという観点で、計画案を詰めているところです。

今後、速やかに計画修正案を取りまとめ、早ければ、十月中には第二回の関係者会議を開催し、関係者間の合意を得た上で、府医療審議会に報告し、何とか年内には国からの変更承認を受けられるように努力をしていきたいと考えております。

京都舞鶴港の振興について

政府が提案している日本海（若狭湾）経済成長戦略特区の考え方について

本格化する環日本海時代を見据え、中国・韓国・ロシア等北東アジア経済圏との地理的優位性を発揮した産業集積を図ることにより、円高や電力不足等による工場流出など我が国の産業空洞化を防止するため、若狭湾における「日本海（若狭湾）経済成長戦略特区」の申請を行ったところです。

具体的には、総合特区制度を活用し、国際高速フェリーと高速道路とのネットワークによる一貫輸送網の構築、保税地域内における関税の優遇措置を効果的に活用したものづくり企業の誘致、企業等のニーズに合わせた数次ビザ制度の導入による海外からの高度人材の確保等を推進したいと考えています。

昨年四月に供用開始したみずなぎ埠頭の活用状況と今後の見通し

ハード面の機能が整備され、昨年は、対前年比約一割増のコンテナ取扱量となったほか、新規の企業が十四社となるなど、地元企業を中心に順調に推移しているところです。

さらに、今年は対前年比、約七割増で推移しており、今後とも堅調な取扱量増加を目指していきたいと考えています。

今後は、既存の大連・青島航路や釜山航路の拡充、上海航路の新規開拓、ナホトカ航路のコンテナ化等、航路の多様化や寄港頻度の増加により、企業の利便性の向上を図っていきたいと考えています。

広域防災拠点の候補地として提案している平地区の活用と近隣に立地する企業等への支援について

京都舞鶴港の今後の整備について、現在改訂作業を進めている舞鶴港港湾計画では、舞鶴国際ふ頭におけるコンテナ機能、前島ふ頭における国際フェリー機能、平地区におけるバルク機能の強化等を検討しています。

このうち平地区は、既に用地造成が概ね完成しておりますが、バルク機能を強化するためには、船が着岸する岸壁とアクセスする道路の整備が必要です。

緊急時における広域防災拠点としての活用も含め、京都舞鶴港整備の全体像の中で、国や舞鶴市と十分連携して検討していきたいと考えています。また、地元企業への支援として、コンテナに加えバラ荷貨物に対する利用促進のためのインセンティブ制度を設けているほか、京都舞鶴港近隣に立地する企業に対し、支援制度の拡充も昨年度から実施しているところです。

政府提案しているレアメタル・レアアースの国家的備蓄拠点整備の考え方について

国内では関東に一カ所しかないレアメタル・レアアースの国家備蓄拠点についても、ハイテクや家電関連の企業など消費地である関西に近い京都舞鶴港近郊に二カ所目の拠点を整備することを国に提案しており、引き続き、国に働きかけていきたいと考えています。

原子力防災対策について

原子力災害時の被害情報の収集や、住民への情報伝達について

原子力事故発生時には、原発地域に設置されているオフサイトセンターから、迅速かつ一元的に情報が提供されることになっていますが、福島の事故においては、この機能が全く働かず、国の情報開示も不十分であったことを踏まえ、国に対し情報伝達体制の再点検と情報開示の徹底を求めているところです。

京都府では、何よりも環境モニタリング体制の強化を図り、平時における環境放射線モニタリング体制の拡充等（七箇所→十七箇所）をすすめてきたところですが、今回、更に、国の補助を得て、九箇所のモニタリングポイントを新たに設置（整備後二十三箇所）することとしているところです。

情報伝達手段の確保については、阪神・淡路大震災の教訓も踏まえ、府と市町村間では、非常用電源を備えた地上系・衛星系の二重回線による防災情報システムが確立しており、市町村と住民の皆様の間では、テレビ・ラジオ、防災行政無線、広報車、自治会長などとの電話連絡網などを活用することとしています。

舞鶴市における原子力災害時の避難体制の検討状況は

舞鶴市は、約八万五千人という規模の住民避難計画に加え、市役所機能の移転も定める必要があり、現在、舞鶴市が設置しました、全部局で構成する庁内プロジェクトに京都府も参画し、本年度内の計画策定を目指しているところです。

避難先や避難経路については、今回の福島第一原子力発電所における事故の状況を踏まえ、降雪や降雨、風向等の気象条件など、その時々の状況に応じ、ＳＰＥＥＤＩ（スピーディ）も活用しながら、柔軟な対応ができるよう、検討を進めていきたいと考えています。